



2019年11月期 決算説明資料

2020年1月24日
シリコンスタジオ株式会社
(証券コード:3907)

INDEX

1. 2019年11月期 連結決算説明

2. トピックス

3. 課題と現状

4. 2020年11月期 連結業績予想

APPENDIX: 会社概要

2019年11月期 連結業績：全社

4期ぶりに黒字転換

繰延税金資産計上により法人税等調整額89百万円を利益計上

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消

(単位:百万円)

	2018年11月期	2019年11月期	前期比
売上高	5,002	4,594	▲ 408
売上原価	4,156	3,096	▲ 1,060
売上総利益	846	1,498	652
販管費	1,617	1,452	▲ 164
営業利益	▲ 771	45	817
経常利益	▲ 804	60	865
当期純利益	▲ 715	158	873

2019年11月期 連結業績:セグメント別

開発推進・支援事業は減収減益、人材事業は増収増益
前年度実施した固定費削減策の効果により全社費用は減少

(単位:百万円)

		2018年11月期	2019年11月期	前期比
開発推進・支援	売上高	2,900	2,630	▲ 270
	セグメント利益	174	132	▲ 42
人材	売上高	1,737	1,841	104
	セグメント利益	369	376	7
その他	売上高	364	122	▲ 241
	セグメント利益	▲ 749	9	758
全社費用		566	469	▲ 96
連結合計	売上高	5,002	4,594	▲ 408
	営業利益	▲ 771	45	817

※2018/7の事業譲渡によりコンテンツ事業から撤退済ですが、他社との協業により継続しているコンテンツタイトルの売上については、「その他」として集計

セグメント別業績：①開発推進・支援事業

(単位:百万円)

	2018年11月期	2019年11月期	前期比
売上高	2,900	2,630	▲ 270
(受託開発)	(1,445)	(1,662)	(217)
(ミドルウェア)	(974)	(614)	(▲ 359)
(ソリューション)	(480)	(352)	(▲ 128)
セグメント利益	174	132	▲ 42

- 受託開発は、エンタメ関連、非エンタメ関連共に成長し増収
 - ミドルウェアは、海外案件でPJ中止による契約取り止めや、期ズレ案件発生等に加え、前年度の大型案件獲得の反動減より減収
 - ソリューションは、NW構築は増収も、NW運用で運用タイトル数減により減収
 - 2017年に開始した不採算の受託開発案件で計87百万円(Q1:37百万円、Q4:50百万円)の損失計上したこと等によりセグメント利益は減益
- なお、本案件は当期中に終結しており、次期損益に影響無し

セグメント別業績：②人材事業

(単位:百万円)

	2018年11月期	2019年11月期	前期比
売上高	1,737	1,841	104
セグメント利益	369	376	7

- 売上高 + 5.9%、セグメント利益 + 2.0%と増収増益が継続
- 当期に稼働した一般派遣労働者数は延べ3,161名(前期比 + 1.9%)
有料職業紹介の成約実績は284名(前期比 + 22.4%)

2019年11月期 連結貸借対照表

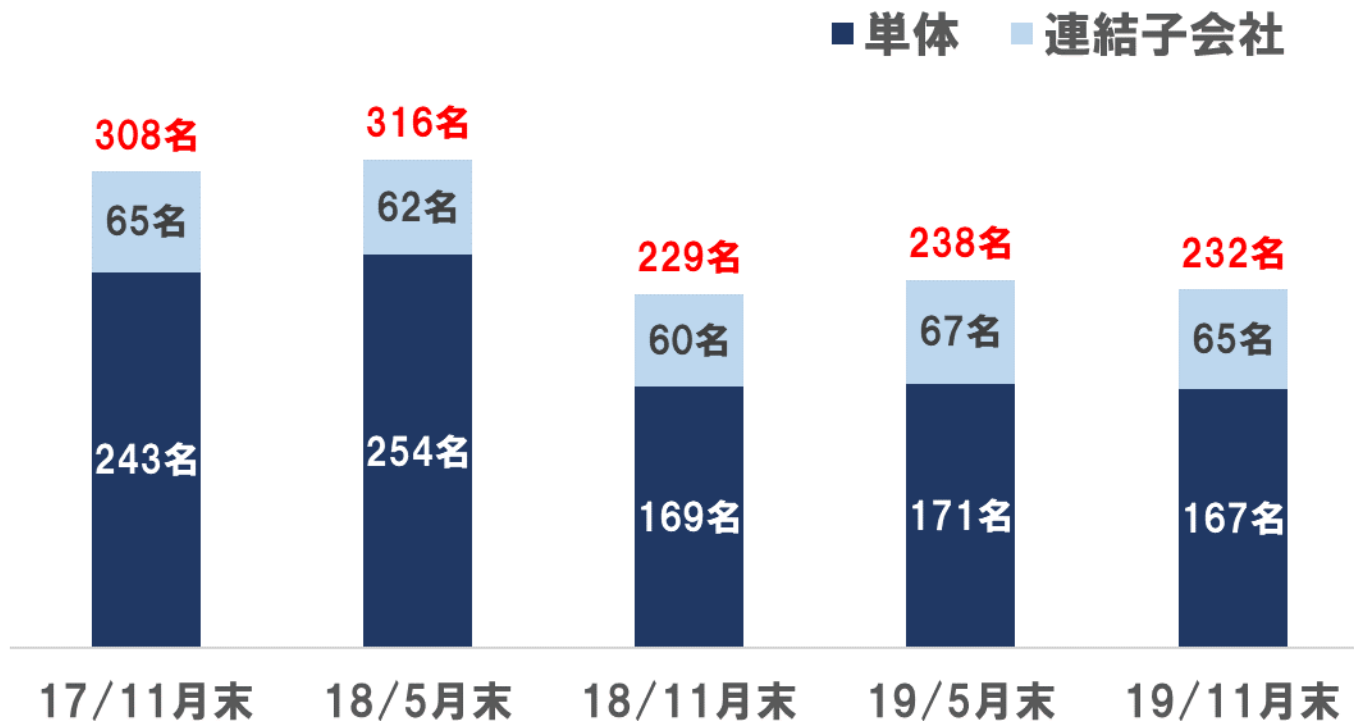
自己資本比率は、52.7%→62.6%、前期比9.9pt改善

(単位:百万円)

	2018年11月期末	2019年11月期	前期比
流動資産 (うち現預金)	1,894 (699)	1,793 (903)	▲ 100 (204)
固定資産	607	608	0
資産合計	2,501	2,402	▲ 99
流動負債	1,058	811	▲ 247
固定負債	113	76	▲ 36
負債合計 (うち有利子負債)	1,171 (309)	887 (262)	▲ 283 (▲ 46)
純資産合計 (うち資本金)	1,330 (439)	1,514 (453)	184 (14)
負債・純資産合計	2,501	2,402	▲ 99
自己資本比率	52.7%	62.6%	9.9pt

従業員数推移

連結従業員数は前期比3名増加
エンジニアが不足しており、今後も採用活動を継続



第三者割当新株予約権 行使状況(2019年11月末現在)

第三者割当による第5回～第10回新株予約権を2018年3月26日に発行
当第4四半期中における行使実績はございません

	行使価額 (円)	付与数 (株) ①	既行使数 (株) ②	未行使数 (株) ①－②
第5回新株予約権	1,886	50,000	50,000	0
第6回新株予約権	1,766	140,000	140,000	0
第7回新株予約権	1,676	140,000	140,000	0
第8回新株予約権	1,359	25,000	12,500	12,500
第9回新株予約権	2,155	70,000	0	70,000
第10回新株予約権	1,855	70,000	0	70,000
計		495,000	342,500	152,500

※本新株予約権発行条件の詳細は2018年3月9日適時開示「第三者割当による新株予約権
の募集に関するお知らせ」をご参照ください

INDEX

1. 2019年11月期第2四半期 連結決算説明

2. トピックス

3. 課題と現状

4. 2020年11月期 連結業績予想

APPENDIX: 会社概要

ミドルウェア『Enlighten』バージョン3.10リリース

- 当社が2017年に『Enlighten』の全世界におけるソフトウェアライセンス、販売、開発、およびサポート権を取得して以降初となる大型アップデートを実施
- 機能面の改善を図ることにより、開発者はより効率的な開発が可能に
- オンラインドキュメントやチュートリアル動画など開発者向けの学習リソースの充実にも注力
- 『Enlighten』の次世代ゲーム機への対応は、第2四半期までに順次実施予定



INDEX

1. 2019年11月期第2四半期 連結決算説明

2. トピックス

3. 課題と現状

4. 2020年11月期 連結業績予想

APPENDIX: 会社概要

業績改善に向けた取り組み

前期
(2018年11月期)

第三者割当新株予約権発行による資金調達
事業譲渡によるコンテンツ事業からの撤退
賃借オフィス一部解約等による固定費削減

当期
(2019年11月期)

不採算案件の抑制
ミドルウェアの販売強化
非エンターテインメント領域における受注拡大

創立20周年を迎えた今こそ第2創業期
中長期成長のための研究開発に注力

開発推進・支援事業の課題と現状

課題① 不採算案件の抑制

施策: 見積～受注～開発～納品まで一連の社内プロセスを見直し
専任のプロジェクトマネージャーを増員

現状: 現在、不採算案件は発生しておらず、収益性改善に引き続き努める

課題② ミドルウェアの販売強化

施策: 地域ごとに実績のある代理人を活用して海外企業向け取引拡大
今後、当社の収益柱となるソフトウェアの研究開発

現状: 代理店の活用の成果はいまひとつ

チュートリアル動画等、開発者向け情報の充実により製品認知度の向上を図る
研究開発には引き続き注力

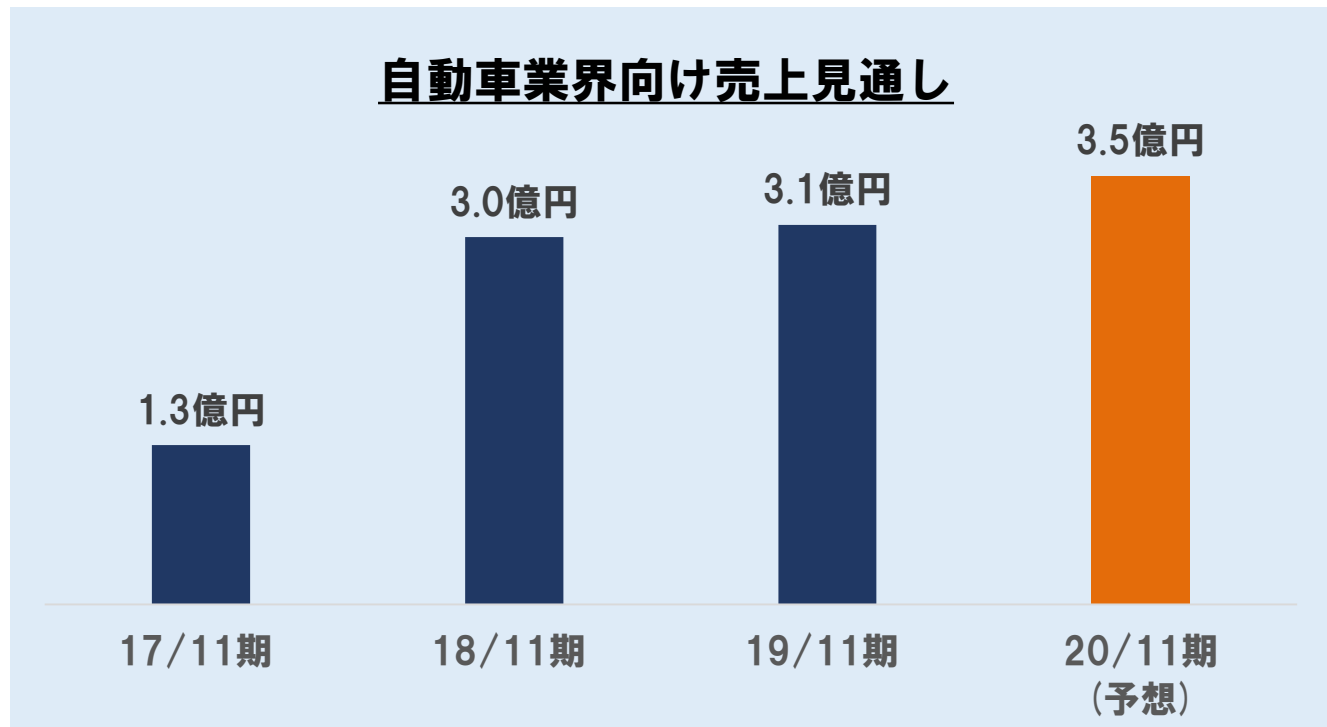
課題③ 非エンターテインメント領域における受注拡大

施策: 自動車業界向けの更なる拡大
機械学習の教師画像のような新たなニーズの取り込み

現状: 教師画像制作への引き合いは旺盛、新たな教師画像制作ソフトを開発中

自動車業界向け事業の現状

自動運転やコネクテッドカーなど次世代自動車の研究開発関連案件が増加
機械学習の教師画像制作や、シュミレーター制作等の案件は増加しているものの、
当初想定した規模には至らず
製品・サービスの拡充を図り、更なる成長を目指す



INDEX

1. 2019年11月期第2四半期 連結決算説明

2. トピックス

3. 課題と現状

4. 2020年11月期 連結業績予想

APPENDIX: 会社概要

2020年11月期 連結業績予想

2つの事業でそれぞれ増益を見込むことから、2020年11月期も増益の見込

(単位:百万円)

	2018年11月期 実績	2019年11月期 実績 ①	2020年11月期 予想 ②	前期比 ②-①
売上高	5,002	4,594	4,574	▲ 19
営業利益	▲ 771	45	160	114
経常利益	▲ 804	60	160	99
当期純利益	▲ 715	158	160	1

2020年11月期 連結業績予想 セグメント別

- 開発推進・支援事業:売上回復および収益性改善等により増収増益を見込む
- 人材事業:働き方改革関連法案施行の影響により前期比横ばいを見込む
- 全社費用:オフィス賃料値上げの影響や、人件費増加等により前期比増加を見込む

(単位:百万円)

事業セグメント		2018年11月期 実績	2019年11月期 実績 ①	2020年11月期 予想 ②	前期比 ②-①
開発推進・支援事業	売上高	2,900	2,630	2,730	99
	セグメント利益	174	132	280	147
人材事業	売上高	1,737	1,841	1,844	2
	セグメント利益	369	376	379	2
その他	売上高	364	122	-	▲ 122
	セグメント利益	▲ 749	9	-	▲ 9
全社費用		566	469	499	29
連結合計	売上高	5,002	4,594	4,574	▲ 19
	営業利益	▲ 771	45	160	114

2020年11月期 開発推進・支援事業の売上見通し

- 受託開発 自動車業界向けと子会社分の成長等により増収の見込
- ミドルウェア 新ゲームプラットフォーム向け需要を取り込み増収の見込
- ソリューション 運用タイトル数減少の影響により減収の見込

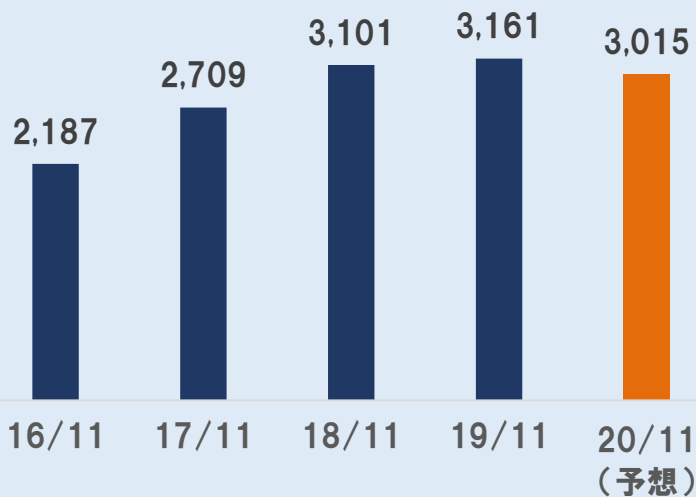
(百万円)

	2018年 11月期 実績	2019年 11月期 実績 ①	2020年 11月期 予想 ②	前期比 ②-①
受託開発	1,445	1,662	1,804	142
（単体）	(916)	(886)	(954)	(68)
（子会社）	(750)	(900)	(1,000)	(99)
（連結相殺）	(▲ 221)	(▲ 124)	(▲ 150)	(▲ 25)
ミドルウェア	974	614	702	88
ソリューション	480	352	223	▲ 128
計	2,900	2,630	2,730	99

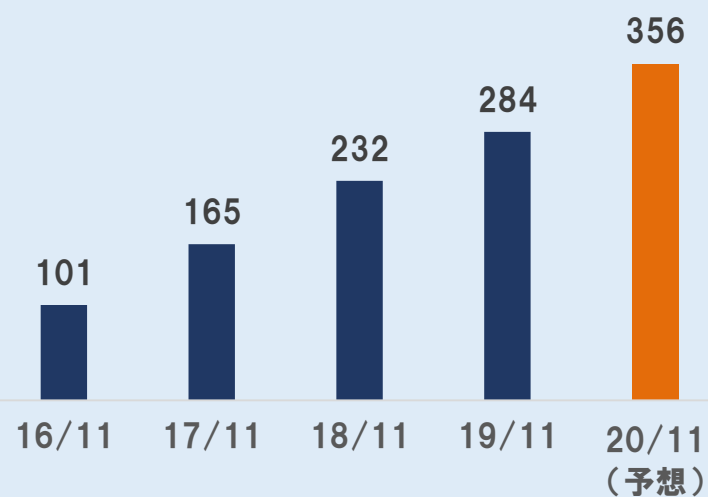
2020年11月期 人材事業の見通し

- **人材派遣** 働き方改革関連法案の影響により稼働者数は減少の見込
- **職業紹介** クリエイティブ人材へのニーズは引き続き強いことから、成約件数は増加の見込

稼働派遣労働者延べ人数推移



職業紹介成約件数推移



2020年11月期 配当予想

2020年11月期も無配を予定しております。
早期に復配させたいと考えておりますが、事業環境等、経営状況を総合的に判断し、復配時期を見極めたいと考えております。

決算期	1株配当金
2015年11月期	10円
2016年11月期	10円
2017年11月期	0円
2018年11月期	0円
2019年11月期	0円
2020年11月期(予想)	0円

APPENDIX: 会社概要

会社概要

- **社名** シリコンスタジオ株式会社
- **証券コード** 3907(東証マザーズ上場)
- **設立** 1999年11月
- **上場日** 2015年2月23日
- **所在地** 東京都渋谷区恵比寿1-21-3
- **資本金** 453百万円(2019年11月末現在)
- **売上高** 4,594百万円(2019年11月期連結)
- **事業内容** 開発推進・支援事業
人材事業
- **従業員数** 単体167名、連結232名(2019年11月末現在)
- **関係会社** イグニス・イメージワークス株式会社(連結子会社)
株式会社イリンクス(持分法適用会社)

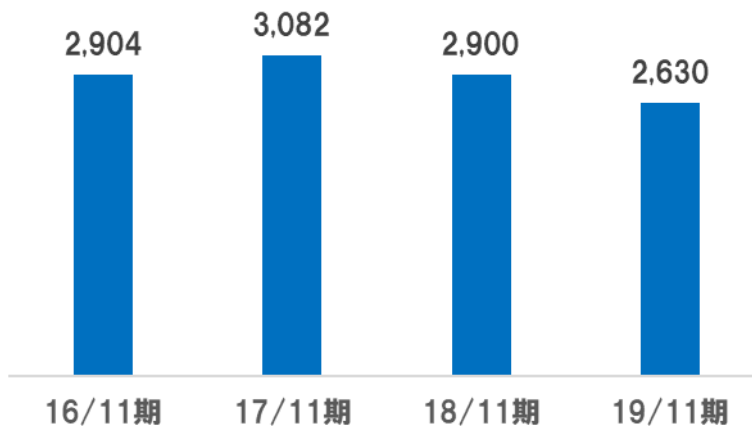
事業概要：①開発推進・支援事業

<事業概要>

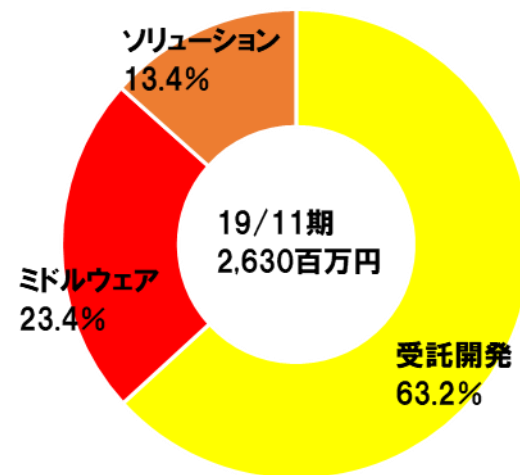
- 受託開発：ゲーム、CG・VR関連、自動車向けHMIなどの受託開発
- ミドルウェア：CG技術を核としたミドルウェア製品の開発・販売、ミドルウェアの受託開発
- ソリューション：大手ゲーム会社向けにサーバープログラム開発からネットワーク構築・運用・監視サービスをワンストップで提供

<売上推移>

(百万円)



<売上構成>



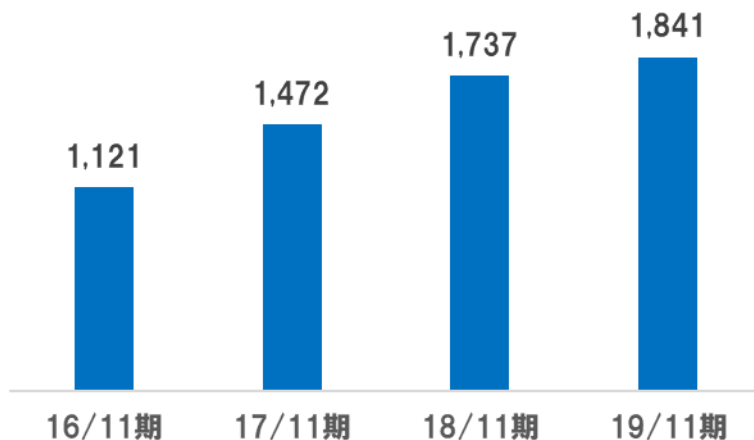
事業概要: ②人材事業

<事業概要>

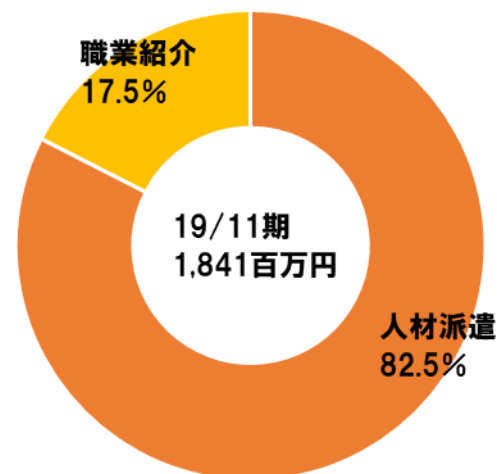
- ゲーム、WEB、映像業界のクリエイター、エンジニアに特化した登録型人材派遣、職業紹介サービス

<売上推移>

(百万円)

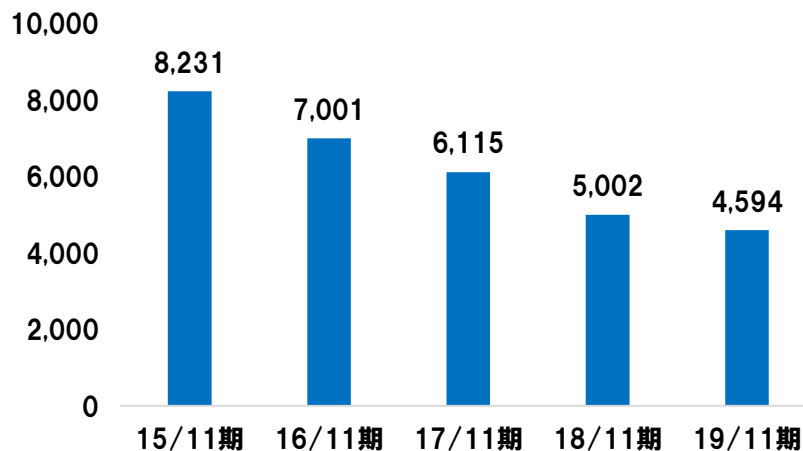


<売上構成>

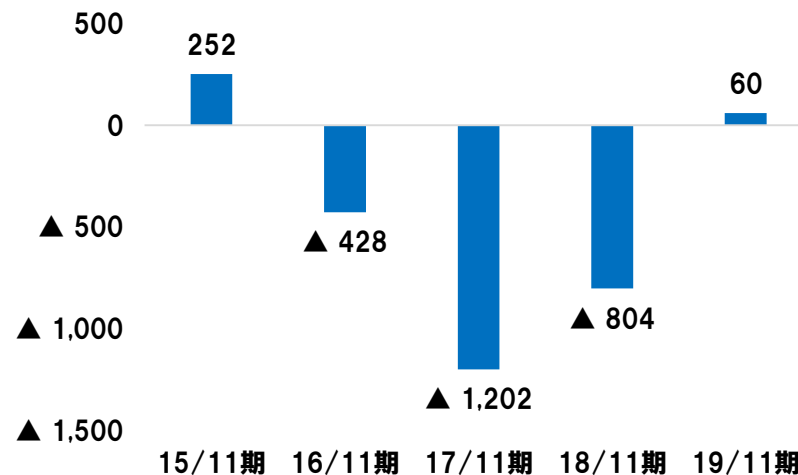


連結業績推移(単位:百万円)

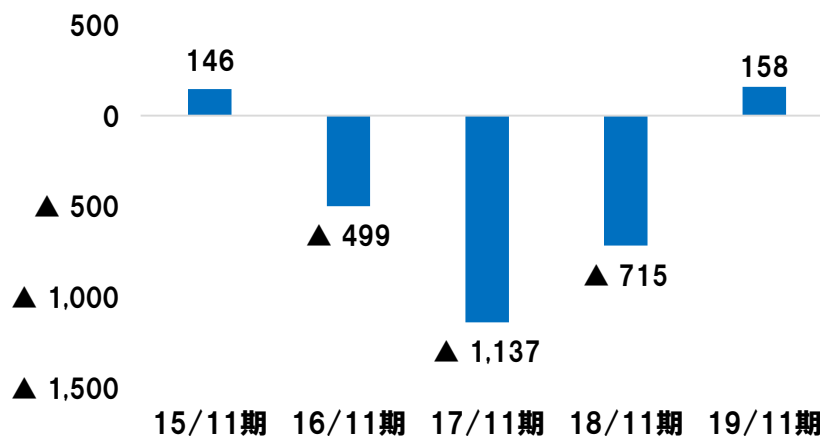
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期純利益



主なミドルウェア製品



- **ポストエフェクトミドルウェア「YEBIS」**
製品紹介サイト <https://www.siliconstudio.co.jp/middleware/yebis/jp/>
- **リアルタイムレンダリングエンジン「Mizuchi」**
製品紹介サイト <https://www.siliconstudio.co.jp/middleware/mizuchi/>
- **グローバルイルミネーション(GI)のリアルタイム処理「Enlighten」**
製品紹介サイト <https://www.siliconstudio.co.jp/middleware/enlighten/jp/>

本資料における注意事項等

- 本資料に掲載している情報は、シリコンスタジオ株式会社(以下、当社)の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料の情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータ改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

【IRに関するお問い合わせ】

シリコンスタジオ株式会社

IR担当

E-mail : ir@siliconstudio.co.jp